



The Supporters Times

サポーターズタイムズ



衆議院議員 秋葉賢也 政策・活動レポート

解散総選挙でリセットし 決める国づくり 前に進める国づくりを!!



衆議院議員
自民党副幹事長

秋葉賢也

残暑厳しい日が続いた今夏ですが、延長された国会では解散に追い込めずに閉会しそうな見通しです。衆議院の定数削減・格差是正法案などの重要法案が合意に至らなかったのは残念でなりません。党利党略を超えて、なぜ「小異を捨て大同につく」政治ができないのか、国会議員として忸怩たる思いで一杯です。一方で、民主党政権になってから頻発するようになった竹島や尖閣諸島をめぐる領土問題は、ますます混迷し深刻の度合が増しています。政府は、断固たる決意をもって、言葉だけではなく、実際に効果的かつ厳正な対策を実行すべきです。

さて、今国会では、自民党は60本を超える議員立法を提出し、約半数に及ぶ24本を成立させてきましたが、時間切れで残り半分以上の議員立法が廃案になりそうです。中でも、私自身が起案した①『サンセット法案』や②『国境管理推進法』、③『国土強靱化基本法案』などは是非とも成立させたかった法律です。

①『サンセット法案』は、私が県会議員の時から力を入れて取り組んできた行財政改革を促進させるため、補助金や各種の審議会などの行政組織、新規の法律などに対して、原則として「終期」（廃止すべき日時を明確に）を設定しようとするものです。これによって見直しの作業が必然化し、必要なものは再延長の手続きを取れば良いだけとなり、行政改革が自動化されることとなります。

②『国境管理推進法』は国境域にある無人島や離島の実効支配を高めるために、灯台などの工作物の整備などを推進していくこととするものです。特に尖閣諸島には不可欠です。

③『国土強靱化基本法案』は今回の大震災を教訓とし、今一度、強靱な国土をつくるため、基本理念と計画を定め、持続可能な国家機能の構築を図ろうとするものです。民主党の災害対策は、いわば交通事故が起こってから信号機を付ける「事後対応」ですが、自民党は「事前防災」の考え方にに基づき、首都機能のバックアップ体制の強化や災害に強いインフラの整備など「国土の強靱化」を進め、災害に強い国づくりを目指します。

トロント大学のリチャード・フロリダ教授は、夜の衛星写真を見ると地球は20～40の明かりの塊（メガ地域）からできており、世界のイノベーションの8割はこの明かりの塊から生まれるといっています。まさに世界で一番大きな明かりの塊は、東京を中心とする日本なのです。大震災後の2か月間、日本の株は買い越されました。それは世界の投資家が日本は甦ると期待しているからに他なりません。野田政権はそのチャンスを活かすことにことごとく失敗してきました。一刻も早く、国民に信を問い、現況政治をリセットさせることが日本復活への至近距離だと確信しています。

震災復興には、「インフラ整備」と「雇用確保・拡大」が不可欠!

復興震災特別委員会等の委員会質疑を通じて秋葉代議士が繰り返し述べてきたのは、「被災地のインフラ整備と被災地の雇用確保・拡充が一体化した復興政策」です。被災地の雇用施策について、厚生労働省の雇用政策研究会がまとめた雇用政策報告書のキーワード“「まもる」雇用政策から「つくる」「そだてる」「つなぐ」雇用政策へ”が、一つの検討材料になります。

復興施策として、被災地の雇用確保・拡充に取り組んで参ります。



1 「つくる」

①「つくる」人材とは?

→未知の世界、時に非常に厳しい環境に、「面白そうだ」「やってみたい」という気持ちで、積極的に飛び込んでいく前向きな気持ち、姿勢・行動力、「最後までやり抜く」「タフネス」、自分の頭で考え課題を解決しようとする素養のある人材の育成。(こうした人材は、企業を発展させるだけでなく、社会の活性化を促す機動力に!)

- ②「雇用創出企業の支援」
- ③「開業・起業、ベンチャー企業等の支援」
- ④「中小企業の雇用管理の改善」
- ⑤「女性の働く場の改善と企業の実態の改善」
- ⑥「高齢化に対応した働きやすさ推進」

2 「そだてる」

①「そだてる」人材の育成とは?

→構造転換に対応した人材育成支援の方策(日本の成長を担う産業の人材育成支援)
→イノベティブな職種、ソリューションなどの付加価値寄与度の高い職業への転換に必要な人材育成支援。

- ②「人材育成」から「人材形成」へ
年齢に関係なく教育訓練を受け、「人材そのものを形作っていく」。
- ③社会人の学び直し支援
- ④日本的長期雇用慣行の再評価

3 「つなぐ」

- ①ハローワークのマッチング機能向上のための取組
- ②福祉人材ハローワークや農漁業就職支援コーナーによる産業ごとの効率的なマッチングの実施
- ③民間の人材ビジネス、教育訓練機関との連携

第180回国会中に秋葉代議士が提出した 質問主意書(テーマ)一覧

- 1 被災者救済と総合法律支援法の適用
- 2 緑化の推進
- 3 株式の上場審査と労務監査
- 4 柔道整復師の卒後臨床研修の制度化
- 5 放射性物質で汚染された建設資材の流通と政府の管理体制
- 6 原子力損害賠償紛争審査会指針の賠償対象区域
- 7 原子力損害賠償紛争審査会指針の賠償対象区域について(第二回)
- 8 原子力損害賠償紛争審査会指針の賠償対象区域について(第三回)
- 9 自主的避難者の状況把握
- 10 汚染状況重点調査地域の健康管理調査
- 11 東京電力の賠償金支払い促進
- 12 汚染状況重点調査地域の健康管理調査について(第二回)
- 13 自主的避難者の状況把握について(第二回)
- 14 「個人債務者の私的整理ガイドラインの利用状況」
- 15 外国政府による土地取得の実態
- 16 自主的避難者の状況把握について(第三回)
- 17 宮城県南部市町村の妊婦及び子供に対する賠償
- 18 仮設住宅間の移転(引っ越し)
- 19 アフリカ諸国の在日大使館(実館)の設置
- 20 福島第一原子力発電所事故の被災者への被災者生活支援法制度の適用
- 21 津波等による住宅救出者への「被災者生活再建支援制度」における支援拡充
- 22 防災集団移転促進事業制度の拡充
- 23 日本臓器移植ネットワーク東日本東北連絡所の閉鎖
- 24 防災集団移転促進事業による宅地買取りと抵当権の抹消
- 25 災害廃棄物の再生利用の促進

第180回国会における秋葉代議士の 委員会質疑一覧

- 1 3月 5日 (衆院) 予算委員会第4分科会
- 2 3月 7日 東日本大震災復興特別委員会
- 3 3月15日 災害対策特別委員会
- 4 3月16日 沖縄北方問題特別委員会
- 5 3月22日 総務委員会
- 6 6月19日 災害対策特別委員会
- 7 7月25日 経済産業委員会
- 8 7月26日 東日本大震災復興特別委員会

秋葉代議士が提案し成立を目指す議員立法(案) ⇒「審議会等の存続期限の設定等による行政改革の推進に関する法律案(いわゆるサンセット法案)」

サンセットとは?

⇒行政組織や政策について予め存続期間を設け、議会在組織や政策の継続を承認しない限り、自動的に廃止とすること。

サンセット法案のポイント

- ①審議会等、特定補助金等及び租税特別措置については、**存続期間を設定!**
- ②私的懇談会や法律の規定によらずに交付される補助金等については、**必要性・効果が乏しいものは、廃止!**
- ③適用対象の消滅や行政目的達成で、**必要性が乏しくなった法律は廃止!**

質問主意書及び政府答弁書の原文は、秋葉代議士のHPからご覧いただけます。

<http://www.akiba21.net/>

8月10日、**韓国の李明博大統領が竹島へ上陸**。8月15日**香港の活動家が尖閣諸島に上陸**等、韓国・中国による領土問題への一方的な行為に対して、日本政府は、日本の主権・日本国民の利益のために毅然とした対応を取らなければなりません。今月号では、**竹島・尖閣諸島**をめぐる、日本の主張の歴史的根拠と秋葉代議士が主張する今後とるべき措置のポイントをご説明します。

竹島

1. 歴史的背景

- ①現在の竹島は、我が国ではかつて「松島」と呼ばれていました。竹島の西北西約92キロメートル先にある鬱陵島が「竹島」や「磯竹島」と呼ばれていました。我が国が「松島」と「竹島」の存在を古くから認知していたことは、各種の地図や文献からも明らかで、遅くとも江戸時代初期には「竹島」に領有権を確立していました。
- ②我が国が占領下にあった1946年、連合国総司令部より発せられた連合国総司令部覚書(SCAPIN)第677号には、竹島は日本が政治上又は行政上の権力を停止すべき特定地域のひとつとされましたが、覚書の文中には、領土帰属の最終的決定に関する連合国側の政策を示すものと解釈してはならないことが明記されていました。
- ③1951年9月の署名サンフランシスコ平和条約では、日本による朝鮮の独立承認を規定するとともに、日本が放棄すべき地域として「済州島、巨文島及び鬱陵島を含む朝鮮」と規定しました。草案内容を承知した韓国は、米国に対し、日本が権利・権原及び請求権を放棄する地域の一つに「竹島」を加えるよう主張しましたが、米国は、かつて竹島は朝鮮の領土として扱われたことはなく、また朝鮮によって領有権の主張がなされたとは見られないと回答、韓国側の主張を否定しました。

2. 秋葉代議士が提言する「政府がとるべき措置」

- ①今年10月末に期限となる**日韓通貨スワップ(570億ドル)枠の破棄**。
- ②**韓国国債の売却**
- ③**国際司法裁判所(ICJ)への竹島問題の提訴提案を韓国政府に毎年明確に提示**。
- ④**竹島問題解決まで、日韓首脳会談における共通テーマとして「竹島問題」を固定化**。

尖閣諸島


1. 歴史的背景

- ①尖閣諸島は、**1885年以降**、政府が沖縄県当局を通ずる等の方法により再三にわたり現地調査を行ない、単にこれが無人島であり清国の支配が及んでいる痕跡がないことを確認の上、**1895年1月14日に現地に標杭を建設する旨の閣議決定を行なって正式にわが国の領土に編入**しました。
- ②サン・フランシスコ平和条約においても、尖閣諸島は、わが国が放棄した領土のうちには含まれないこと(2条)、南西諸島の一部としてアメリカ合衆国の施政下に置かれること(3条)とし、**1971年6月17日署名の沖縄返還協定にも、日本に施政権が返還された地域の中に「尖閣諸島」は含まれています**。

2. 秋葉代議士が提言する「政府がとるべき措置」

- ①「**無人国境離島管理法(案)**」の早期成立。
- ②海上保安庁による尖閣諸島周辺の警備強化に加え、万事に備えた海上自衛隊(護衛隊)の常置により、尖閣諸島への実効的支配を定着!

「**竹島・尖閣諸島等の領土問題**」
私たちが日本の領土を守らなければなりません」



復興交付金 第3次配分 が決定!

復興庁が8月26日に公表した復興交付金の第3次配分は、次の通り。

	配分額(億円)	申請額	交付率(%)
宮城県	804	742	108
(内)			
仙台市	14.5	16.2	89.5
東北4県			
合計	1428.6	1103.6	129

秋葉代議士のコメント

宮城県全体では、申請額を超える配分額が決定され、安心した。10月中旬に受付が始まる第4次申請分については、「**効果促進事業**」について地域の特性に応じて決定が行われるよう、国会の場で政府に強く提言して参りたい。

武部勉元自民党幹事長 被災地の現状視察のため宮城県内を視察

武部勉元自民党幹事長が来仙され復旧の現況について視察しました。まず、宮城復興局を訪れ現在の状況、これからの対応について意見交換を致しました。



その後、福島第一原子力発電所事故による風評被害を受けた宮城県丸森町も訪れた**秋葉代議士と武部元自民党幹事長**。丸森町では、保科町長より、福島原発被害の賠償対象から外されてきた宮城県の丸森町が、秋葉代議士の国会での質疑等を通じた提言により、賠償対象地区になったことについてお礼の言葉を頂きました。これからも、現地現場主義を貫きます。

【活動ブログ】 www.akiba21.net 【ツイッター】 @akibakenya 更新中! 秋葉賢也 検索

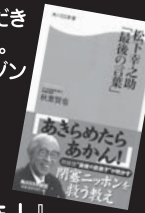
★自民党入党のお願い★

満18歳以上で日本国籍を有し、自民党の綱領や政策に賛同して下さる方は、どなたでも、下記まで、お問い合わせください。

- ◆一般党員 4000円
- ◆家族党員 2000円

*お問い合わせは、秋葉けんや仙台事務所まで。
Tel 022-375-4477 Fax 022-375-0057

多くの皆様にご購読いただき心より感謝申し上げます。全国の主要書店やアマゾン等のインターネットでもお求めいただけます。



『松下幸之助 最後の言葉』

秋葉賢也著(角川SSC新書)定価760円

タウンミーティング(国政報告会)

秋葉代議士を囲んで意見交換を楽しみませんか?

- 9月21日(金)若林区 19時 @連坊コミュニティーセンター
- 9月28日(金)宮城野区 19時 @福室市民センター
- 9月29日(土)泉区 19時 @将監市民センター

いのちを守る森の防潮堤を視察



写真1



写真2

秋葉代議士が幹事役を務めている『いのちを守る森の防潮堤』の視察を行いました。秋葉代議士を筆頭に被災地の国会議員、県議員が今後展開して行こうとしているいのちを守る森の防潮堤プロジェクトについて、ここで簡単にご説明します!

それは、震災によってでた、大量のガレキの山の中から毒(例えば化学物質等)と分解不能なもの以外を有用な地球資源として活用し、被災地のガレキの山を選別、穴を掘ってコンクリートガラ等を埋め土と混ぜ、その上にマウンド(植樹地)を形成し、マウンドを高くすることで、津波に対してより安全性が高まる『いのちを守る森の防潮堤』を作るといふものです。

このプロジェクトには、更に、市民全体で植樹すること、住む皆さんの安全への意識、木々や防潮堤の大切さを学ぶこともできるという利点もあります。(左1の写真は、このプロジェクトを実現するために用いられる「ポット苗」です。左2の写真は、ポット苗が数か月経た様子映しています。)

もっとも、政府は、有害な物質やガスが放出の恐れ等の理由からガレキの中でも埋められるものを限定していますが、時間はかかってもプロジェクトの成果が着実に出るよう、着実に取り組んでまいります。

秋葉代議士の政治活動の原点です **現地現場主義**

被災ローン減免制度 是非、ご利用下さい!

震災で担保物件である建物等が津波等により滅失したにもかかわらず住宅ローンだけ残る等「被災ローン」でお困りの皆さん! **個人版私的整理ガイドライン**を活用することで、一定の要件の下、債務免除がつけられます!ガイドラインを活動する場合、

- ①弁護士費用はかかりません!
- ②破産手続きと異なり、**個人信用情報の登録などの不利益を回避**できます!
- ③手元に残せる預金の上限は、**500万円まで拡張!**

* (8月10日迄) 債務整理開始の申立件数

全 国	316件
宮城支部	199件
うち債務整理の成立件数	
全 国	55件
宮城支部	39件

まずは、お電話でご相談を!! **0120-380-380**

震災復興ボランティア団体 「おもいでかえる」 ボランティアの皆さんを激励!



おもいでかえる
(所在地)
仙台市若林区新井
矢取東62番
(連絡先)
070-5473-3585

震災復興ボランティア団体「おもいでかえる」は、東日本大震災の津波によって流された写真を洗浄し、持ち主のもとへかえす活動を行っています。活動されているボランティアの皆さんを激励しようと、若林区にある「おもいでかえる」を訪れた秋葉代議士。

ボランティアの方々から、①来場者のうち約5割の方々が、自分の写真を見つけて持ち帰るそうですが、②持ち主の元に戻ったお写真は、全体の2割しか帰っていない旨、お話頂きました。

～津波で大切なお写真を流されてしまった皆さん、是非、一度「おもいでかえる」に立ち寄ってみませんか～

～ kenya's PLOFILE ～



- 昭和37年7月3日宮城県生まれ、50才。
- 角田高校を経て、中央大学法学部卒業、東北大学大学院法学研究科博士課程前期修了。
- 財松下政経塾卒塾(第9期生 宮城県初)を経て、宮城県議会議員(三期)を務める。
- 総務大臣政務官などを経て、現在、衆議院議員(三期目)。自民党副幹事長(三回目)。シャドウキャビネット総務副大臣。
- 衆議院外務委員会委員、沖縄及び北方問題特別委員会筆頭理事、災害対策特別委員会委員、東日本大震災復興特別委員会委員、自民党副幹事長、総務部会長代理、情報通信関係団体委員長などを務める。
- 著書:『松下幸之助「最後の言葉」』(角川SSC新書)、『地方議会における議員立法』(文芸社)、『東北の夢創造』(ぎょうせい)。
- 趣味:スポーツ・音楽・映画。 ● 特技:書道二段・空手初段。
- 尊敬する人:松下幸之助、マザーテレサ。

秋葉賢也事務所
www.akiba21.net
仙台市泉区上谷刈4-17-16
Tel 022(375)4477
Fax 022(375)0057
購読料 年額6,000円
編集 (株)アクトジャパン

※ お願い 本紙「サポーターズタイムズ」を是非ご購入ください
⇒ お申込みは仙台事務所までお電話(☎022-375-4477)を!!

ハガキや切手を、是非、カンパ下さい!